

# 京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム 2004（平成16）年度事業報告

巻頭言 「次のステップに向けて具体的な目標を掲げ、作業を始める時期にきている。」

京のアジェンダ21フォーラム代表 内藤 正明

フォーラム発足7年目、そろそろ一つの転換期に差し掛かっているという印象を強く感じています。時あたかも京都議定書が発効し、京都市地球温暖化対策条例も施行されました。これまでは、「何をやれば温暖化対策につながるのか」ということが分かりにくい中、できることからはじめようと様々な活動を行ってきました。しかし、「一度活動を見直し、次のステップに向けてきちんとしたシナリオを持った方がいいのでは」というご意見が多く寄せられており、私自身もそう思っております。その大きな理由は、議定書の発効、条例の施行と、足元の環境が大きく変わる中、世界では議定書を越えた動きが顕著になってきていると感じるからです。ヨーロッパでは二酸化炭素を6～10%どころか、50～70%を削減すると言ようになってきていますし、日本でも、6%さえ無理だと言っていた政府が、75%削減するとまで言い出し、環境省は80%削減の社会に向けた具体的なシナリオを書くと言っているようです。また東京都は「半減社会（東京ハーフプロジェクト）」というものを打ち出しております。これは技術や仕組みを導入することで、二酸化炭素排出量を半分にするというものです。京都もそろそろ、具体的な目標を掲げ、作業を始める時期にきていると思います。フォーラムはその実行部隊として、何をどうすればどれだけの効果になるのか、持続可能な社会につながるのかという計画作りを行い、その動きと連動して個々の活動それぞれが、一翼をどういう形で担っているのか明らかにするべきであると考えます。そういった提案や意見があちこちから寄せられていることも踏まえて、新しい展開に向けての議論をしていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしく申し上げます。（平成17年度総会挨拶）



## 1 事業報告

### (1) 今後のあり方についての検討

「京のアジェンダ21」を推進する組織として発足した当フォーラムも設立後7年が経ち、一定の成果をあげたものもあれば、これから更なる取組を進めなければならないものもあります。そこで、今一度、当フォーラムの目的、目標、本来の使命を確認し、新たな明確な目標を定め、フォーラムが担う役割と今後着実に取り組むことについて、常任幹事会、幹事会を中心に、1年間検討しました。

### (2) 情報収集・提供

#### ア ニュースレター「あじえんだ」を発行

フォーラムの活動方針、活動報告や他地域の事例等を掲載している機関誌「あじえんだ」（季刊）第19号から第22号までを発行し、会員に送付するとともに、区役所等に設置するなど広く市民に配布しました。（各3,500部～4,000部）

#### イ 事務局通信「月刊あじえんだ」を発行

フォーラムの活動予定や会員の行事案内等を掲載している事務局通信「月刊あじえんだ」を毎月発行し、会員に送付しました。（約500部）  
また、「あじえんだ」や「月刊あじえんだ」に同封して、会員の行事案内等を送付しました。

#### ウ ホームページを整備・運用

京のアジェンダ21の内容やフォーラムの活動予定等の情報を発信するホームページの整備を進めまし

た。

（URL: <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>）

また、KES認証事業部のホームページに、認証取得事業所のリストやグリーン調達基準採用企業情報等を掲載しました。

（URL: <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/>）

#### エ メールニュース・メーリングリストを運用・整備

広く会員以外の方にも情報を伝えるメールニュース「週刊あじえんだ」を発行し、ホームページからも登録できるようにしました。（28号発行）

また、ワーキンググループ（以下「WG」という）ごとのメーリングリストの運用を行いました。

#### オ パネル展示等

京都議定書発効記念行事（主催：環境省、京都府、京都市）等のイベントでパネル展示を行いました。また、9月1日～10月31日まで叡山電車「こもれび」車内にてポスター展示を行いました。また、京エコロジーセンターの2階展示コーナーにもえこまつりWGのリターンブルシステムの展示を行っています。

#### カ 平成15年度事業報告書を作成

平成15年度の活動状況等をまとめた報告書を作成し、配布しました。（ホームページにも掲載）

#### キ イベント情報の発行

フォーラム、京エコロジーセンター、京都市ごみ減量推進会議との三者連携により、フォーラム会員主

催等のイベント情報を掲載した『京都環境イベントカレンダー』を毎月発行し、会員に送付しました。

### (3)WG活動

#### ア ライフスタイルWG

<コミュニティのアジェンダ21タスク>

- ・ 伏見区醍醐をモデル地域として実践活動を行い、地域グループと環境NPOとの連携のもと、6月に「醍醐環境フェスタ」を開催しました。

<省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーンタスク>

- ・ タスクのメンバーを中心に7月に「省エネレベル協議会」を立ち上げ、タスクから移行しました。

#### イ 企業活動WG・KES認証事業部

- ・ KES認証事業を推進し、平成16年度はステップ1が79社、ステップ2が39社、学校版が1校の計119件を新たに認証し、平成17年3月末までの認証登録数は439件となりました。
- ・ 昨年度作成したKESステップ1取得事業所向け環境報告書「かんきょうレポート」のひな形の普及活動をしました。
- ・ KES取得企業のネットワークによる任意組織「KES倶楽部」が開催する研修会や電子メール・FAXで毎月発行する「KES倶楽部通信」の作成に協力しました。
- ・ 他地域等の団体(6組織)に協力し、KES協働審査登録体制を構築しました。(認証登録数156件)

#### ウ エコツーリズムWG

- ・ 観光関連施設のエコロジー化の取組として、KES認証事業部と連携し、「環境にやさしい旅館・ホテル」試行事業を実施しました。

#### エ 環境にやさしい交通体系の創出WG

- ・ 「醍醐コミュニティバス」の利用促進支援を行いました。
- ・ 市街地の駐輪場利用促進を目的に、「まちなかを歩く日」開催にあわせ、都心部で1ヶ月間、交通社会実験事業を行いました。
- ・ 伏見工業高校・洛水高校の“自転車を活かすまちづくり”を中心テーマとした総合学習に講師派遣、調査協力等を行いました。
- ・ 次世代の公共交通機関の導入に向けて、「(京)次世代都市交通導入フォーラム」を(株)モチベートと共催しました。
- ・ 交通に関わる情報の共有等を目指し、フォーラムのホームページ内に「交通掲示板」を設置しました。
- ・ 東山交通社会実験や、嵐山等観光地交通対策に参画・協力しました。

#### オ エコミュージアムWG

- ・ 大原野森林公園森の案内所で展示するビデオとポスターの企画・作成を行いました。
- ・ 特定非営利活動法人森林再生支援センターが経済産業省のバイオマス等未活用エネルギー事業

調査補助事業で行った『多様な主体の協働による汎用性の高い小型ガス化システム導入事業化調査』に参画・協力し、大原野森林公園バイオマス事業化検討委員会の事務局を共同運営しました。

#### カ 食の循環WG

- ・ 家庭での生ごみ堆肥化のマニュアル「やってみませんか“生ごみ”からの堆肥づくり」を発行し、京路地などイベント等で頒布しました。
- ・ 小学校区レベル(葵、御室地域)での地域循環のモデルづくりを目指して社会実験を実施しました。
- ・ 同事業では、生ごみ分別回収の実践を実証し、その回収した生ごみを府立大学で堆肥にするだけでなく、同大学でそれを利用した農園づくりにも取り組みました。
- ・ 活動の報告会を行い、報告とともに京都内外で堆肥化に取り組む人の交流もはかりました。

#### キ えこまつりWG

- ・ 区民ふれあいまつりなど市内等10箇所でお祭り・イベントの環境対策の実施を支援しました。
- ・ 京エコロジーセンター社会実験支援事業として、えこまつりコーディネーター養成講座を開催しました。また、支援したお祭り・イベント主催者の代表を中心としたサポート体制検討委員会を発足し、お祭り・イベントでの環境対策のサポート体制の検討を行いました。
- ・ 食器洗浄搭載車の製作に協力しました。
- ・ 地球・人間環境フォーラムが行った全国リユース食器ネットワークの構築に協力しました。

#### ク 自然エネルギーWG

- ・ 企業の自然エネルギーやグリーン電力に対する認知度をあげ、連携関係を築いていくため、以下の活動を行いました。
  - 企業向けパンフレットの作成。
  - KES認証事業部に対し、「構築の手引き」環境取組状況チェックリストの項目に自然エネルギーの活用を盛り込むことを提案。認証取得企業へのメール配信。
  - 企業との対話をはかるため、意見交換会を開催。
- ・ 京都市と対話し、市と連携した自然エネルギー普及の仕組みについて検討しました。

#### (4)プロジェクトチーム活動

- ・ 「京都市地球温暖化対策条例」の策定過程でWGをはじめ幅広い市民参加を進め、実効性のある条例策定に貢献し、その後の推進における市民、事業者、行政等の協働を促進することも目指し、昨年度設置した「地球温暖化防止条例プロジェクトチーム」の活動を引き続き行いました。
- ・ 京都市及び京都市環境審議会に対して、この設立趣旨を踏まえた申入れを行い、市民、行政、審議会との対話などを行いました。
- ・ 「京都市地球温暖化対策条例」の制定に当たりオ

ーブフォーラムを開催し、一定の役割を終えてチームを解散しました。

## (5) 交流・共催事業

### ア 会員交流会

- ・ 総会第3部において、食の循環WGメンバーがお茶・コーヒー・お菓子の提供をして、会員間の交流を深めました。またその場で各WGから、これまでの事業報告や今後の事業計画についての提案を行い、WG間の交流を促進しました。

### イ 共催事業等

- ・ 共催事業 2件
- ・ 委員就任 8件
- ・ 協力出展等 3件
- ・ 講師派遣 2件
- ・ 後援事業 18件

## (6) キャンペーン活動

- ・ 京都議定書応援団・ストップザ温暖化キャンペーンを実施しています。

## (7) 研修

- ・ 大学コンソーシアム京都と連携して講座を開講しました。

## (8) 調査研究

- ・ 京エコロジーセンターの調査研究事業を協力して実施しました。
- ・ WG活動等に伴って各種調査を実施しました。

## 2 会議の開催

### 開催実績

- ・ 総会(6月26日)
- ・ 幹事会(3回)
- ・ 常任幹事会(4回)
- ・ コーディネーター会議(4回)
- ・ WG等の会議を随時開催しました。

## 3 会員

- ・ 平成17年3月末日現在の会員数  
個人会員 275  
団体会員 213  
合計 488

## 4 事務局

### (1) 組織の整備・強化等

- ・ 常勤コーディネーター1名(6月末で退任)、常勤スタッフ2名、広報担当リーダー1名、KES認証事業部は事務局長1名、常勤スタッフ2名の体制。
- ・ 随時インターン生を受け入れ。

### (2) 中間支援(インターメディアリー)業務

複数の会員、グループや機関の参画する実行委員会もしくは会員となっている地域協働型組織が主体となって実施する環境社会実験や環境コミュニテ

ィ事業に関して、事務局スタッフ等が以下の支援協力コーディネート業務に携わりました。

- ・ 醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会(醍醐地域の自治町内会及び地域女性会他で構成)が事業化を進めている醍醐コミュニティバスの運行計画策定及びPI(住民参加)の取組の支援コーディネート業務

### (3) 他機関との連携業務

他機関が開催する以下の会議に委員として参画しました。(委員名)

- ・ 京エコロジーセンター事業運営委員会(幹事長小幡範雄)
- ・ 京都省エネラベル協議会運営委員会(事務局宇高史昭)
- ・ 京都府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会(事務局 竹村光世)
- ・ 京都府地球温暖化対策プラン検討会議(事務局 竹村光世)
- ・ 京都グリーン購入ネットワーク(KES認証事業部 副事業部長 荒川佳夫)
- ・ 歩いて暮らせる街づくり推進会議(環境にやさしい交通体系の創出WG 恩地惇)
- ・ 嵐山交通対策研究会(環境にやさしい交通体系の創出WG 渡辺洋)
- ・ 東山交通対策研究会(環境にやさしい交通体系の創出WG 恩地惇)

### (4) 所在地

#### 事務局

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

京都市環境局地球環境政策部地球温暖化対策課内

TEL: 075-222-4037

FAX: 075-222-4039

#### 事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター内

TEL: 075-647-3535

FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

#### KES認証事業部

〒615-0801

京都市右京区西京極豆田町2

京都工業会館内

TEL/FAX: 075-323-6686

E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/>

## 5 役員名簿

(平成17年3月末日現在)

### [代表]

内 藤 正 明 京都大学名誉教授・特定非営利活動法人循環共生社会システム研究所代表理事

### [幹事長]

小 幡 範 雄 立命館大学政策科学部 教授

### [幹事長代理]

枚 本 育 生 特定非営利活動法人環境市民 代表理事

### [常任幹事]

浅 岡 美 恵 弁護士  
阿 蘇 紀 夫 財団法人京都市環境事業協会 京エコロジーセンター事業長  
小 堀 脩 京都商工会議所 専務理事  
笹 谷 康 之 立命館大学理工学部土木工学科 助教授  
田 浦 健 朗 特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長  
高 橋 修 京都市 環境局長  
高 橋 肇 子 京都市地域女性連合会 常任委員  
津 村 昭 夫 社団法人京都工業会 理事  
中 川 大 寛 京都大学大学院工学研究科 助教授  
山 内 寛 京都市保健協議会連合会 副会長

### [幹事]

石 谷 彰 男 環境クラブ京都 代表  
大 川 昭 社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長代理  
大 島 仁 京都市 都市計画局長  
佐 合 真 株式会社京都放送 総合事業企画室長  
十 倉 良 一 株式会社京都新聞社 報道局長兼社会報道部長  
中 野 美 明 京都市 産業観光局長  
南 北 幸 雄 京都府中小企業団体中央会 専務理事  
西 村 清 司 京都商店連盟 事務局長  
西 村 仁 志 環境共育事務所カラーズ 代表  
人 見 康 裕 社団法人京都青年会議所 副理事長  
本 部 正 一 社団法人京都市観光協会 事務局長  
三 品 廣 実 京都府企画環境部 環境政策監  
水 野 篤 夫 財団法人京都ユースホステル協会 統括部長  
文 字 英 夫 社団法人京都ボランティア協会 理事

### [監事]

幸 前 清 孝 環境クラブ京都 副会長  
原 強 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長

京のアジェンダ21フォーラム 2004(平成16)年度事業報告

平成17年6月発行

発行者 京のアジェンダ21フォーラム

<事務局>

〒604-8571 京都市環境局地球環境政策部  
地球温暖化対策課内

TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

<事務所>

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13  
京エコロジーセンター内

TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536